

大会における新型コロナウイルス感染拡大防止策について

山口県小学生バレーボール連盟

1 目的

5月14日付け公益財団法人日本スポーツ協会より広報された「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、5月26日付け「活動再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」及び5月29日付けJVA「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に従って、次のとおり大会の感染拡大防止策を実施する。

2 主催者側としての対応

- (1) 感染拡大防止のための掲示をする。(体調不良がある方の参加・観覧禁止、手洗い30秒以上、マスク・ゴミは持ち帰る、万が一発生した場合の報告義務 等)
- (2) 消毒液を準備し、使用用具を使用前・使用後に消毒する。
- (3) 基本的に全窓を開放し、試合会場の換気を確保する。(密閉を避け、ボールも出ないようにする。)
- (4) 受付窓口には、手指消毒液を設置し、人と人が対面する場所は、アクリル板等で遮蔽する。
- (5) 1コートに入れるチームは最大2チームとし、ウォーミングアップについては時間を決め、1チームで半コートを利用する。(密集・密接をできるだけ避ける。)
- (6) 感染発生の場合に備え、各チーム参加要件に来場者のリストの提出を求める。
(急な参加については、受付簿を設置し記載する。個人情報の取り扱いに十分注意し、1ヶ月保存する)

3 試合前における参加チームの対応

- (1) 参加者リスト(試合前体調アンケート及び当日朝の検温を記載、応援保護者も含む)を提出する。
- (2) 関係者全員分のマスクを持参する。(予備があるとよい。)
- (3) 手指消毒液をチームで準備し、試合ごとに消毒する。
- (4) 記録用の筆記用具を持参する。(鉛筆かシャーペン、消しゴム)
- (5) 使い捨て手袋やゴミ袋を持参する。(チームの使用済み衛生品の処理は各チーム。)
- (6) コイントスの前の握手はせず、一礼とする。

4 試合中における対応

- (1) 記録員、補助員はマスクを必ず着用する。
- (2) ベンチスタッフ(監督・コーチ・マネージャー)は必ずマスクを必ず着用することとし、選手は基本しないが、希望により着用することはできる。控え選手はマスクをして応援する。
- (3) タオルや飲み物の保管を徹底する。(1つのホルダーに入れる水筒の数を減らす 等。)
- (4) 試合開始・終了のホイッスル後の握手はしない。(礼とあいさつをきちんとする。)
- (5) 体調の異常や、激しい咳等異常を感じる選手については、試合中でも審判団と本部で協議し試合続行について検討する。(検温実施)
- (6) 主審・副審は、電子ホイッスルを使用することとし、試合後、審判した周辺を消毒する。
- (7) 来場者による声による応援を禁止し、会話は控える。(拍手はよいが、発声はさせない。太鼓禁止。)
- (8) 会場に入れるチームの応援者は3名までとし、マスクを着用して間隔(2m目安)をとり応援する。

5 大会終了後における対応

- (1) 大会終了後2週間以内に大会参加者の中で、コロナ感染者が発生した場合は、必ずブロック理事と県小連理事長に報告する。
- (2) 報告があった場合は、理事長は速やかにブロック理事を通して参加全チームに連絡をする。
(具体的な対応・対処については、県や市の指示に従う。)

6 関係者が準備するもの

新型コロナウイルス感染症予防に伴い関係者が準備するものは次のとおりとする。

大会本部	参加チーム
1、注意喚起の掲示物	1、マスク
2、消毒液（器具等の消毒、受付用消毒）	2、消毒液（試合後選手等の手指消毒）
3、手指用石鹸（本部役員用）	3、手指石鹸（チーム用）
4、ゴミ袋（本部役員用）	3、参加者名簿
5、手袋（本部役員用）	4、記録用筆記用具
	5、ゴミ袋（チームからでたもの）
	6、手袋（チーム関係者用）